

登録日 2014/1/9

レジメン名 Pan003

腫瘍名 膵臓がん

申請医師 消化器外科

投与スケジュール

FOLFIRINOX				14日毎×PDまで	
				1コース	2コース
				1 2 3	15 ... (day)
① 生理食塩水 (ポート穿刺用)	20 mL	点滴	5分	↓	↓
② デキサート パロノセトロン 硫酸アトロピン 生理食塩水	9.9 mg 0.75 mg 0.25 mg 50 mL	点滴	15分	↓	↓
③ オキサリプラチン 5%ブドウ糖液	85 mg/m ² 250 mL	点滴	120分	↓	↓
④ レボホリナート 5%ブドウ糖液	200 mg/m ² 250 mL	点滴	120分	↓	↓
⑤ イリノテカン 5%ブドウ糖液	180 mg/m ² 500 mL	点滴	90分	↓	↓
* レボホリナート投与開始30分後に投与する					
⑥ 5-FU 生理食塩水	400 mg/m ² 50 mL	④、⑤終了後に 全開		↓	↓
⑦ 5-FU 生理食塩水	2400 mg/m ²	⑥終了後に 46時間かけて インフューザーを用いて		■	■
* フルオロウラシルの量にあわせて総量が変わります。					
⑧ 生食注シリンジ ポート内洗浄 患者持ち帰り用	10 mL	静注		↓	↓

注意事項

- ・UGT1A1遺伝子多型の測定を実施する。
ダブルヘテロ、ホモの場合は、主治医以外の医師ともカンファレンスで施行の有無を検討すること
(臨床試験でこの患者群は除外されていた為)。
- ・アプレピタントは、患者の催吐リスクや発現状況に応じて、適宜追加。
- ・減量基準(項目に該当した場合、投与レベルを1レベル減量する)
減量すべき条件は、DINETからオキサリプラチンを検索し、FOLFIRINOX適正使用ガイドを参考とする。
下記に示した減量基準が、臨床試験で用いられた内容。減量条件に該当した場合、下記を参考とする。
* 減量 Level 1⇒L-OHP: 65mg/m²、CPT-11: 150mg/m²、5-FU急速: 中止、5-FU持続: 1800mg/m²
Level 2⇒L-OHP: 50mg/m²、CPT-11: 120mg/m²、5-FU急速: 中止、5-FU持続: 1200mg/m²
Level 3⇒L-OHP: 中止、CPT-11: 中止、5-FU急速: 中止、5-FU持続: 中止

参考文献

- 1). Thierry Conroy, et al, . FOLFIRINOX versus Gemcitabine for Metastatic Cancer, *N. Engl. J. Med.*, **364**, 1817-1825 (2011).
- 2). 日本膵臓学会, FOLFIRINOX療法 適正使用情報, 2014